

新型コロナウイルス感染の広がりに関する景気動向調査の分析結果

2020/03/30

1. 調査の概要（景気動向調査への協力依頼について（お願い））

霊柩（れいきゅう）事業者を除いてFAXで調査可能な会員事業所547事業所について、

- ① 【設問4】R2年1月の売り上げ（対前年同期比）
- ② 【設問4】R2年2月の売り上げ（対前年同期比）
- ③ 【設問5】R2年3月以降（3～5月）の売り上げ見込み

について、アンケート調査を実施（3/16～27日）

2. 全体基調（資料1）

547事業所中、308事業所から回答があった。（回収率56.5%）

【設問4】の1月の売り上げでは、「上昇—減少」（以下「DI」という。）が▲22ポイント、同じく2月のDIは▲26ポイント。多くの事業者が、消費増税や燃料高騰の影響で厳しい経営となっていることが伺える。

【設問5】の3月以降の先行きについては、DIが▲54ポイントで、前2か月と比較して32ポイント、28ポイントそれぞれ悪化しており、各事業所とも今後一層経営環境が厳しくなると予想している。

なお、聞き取りによれば、ほとんどの事業者が新型コロナウイルスの蔓延に伴い経済活動が一層停滞するものと見ていることが要因である。

3. 各事業所の輸送品目別による考察（資料2：3月以降の見通しから）

回答数が10事業所以上ある輸送品目別について分析した結果は、以下のとおり

- ① 工業品を主に輸送する事業所 — DIは▲79ポイントと厳しい結果
自動車部品の製造現場に大きな影響が見られることが、先行きに表れていると思われる
- ② タンクローリーなどの事業所 — DIは▲68ポイント
- ③ 木材を主に輸送する事業所 — DIは▲67ポイント
- ④ 食料品を主に輸送する事業所 — DIは▲57ポイント
酒類など飲料関係の需要が激減したことによる影響と思われる
一方で、「変わらない」と見ている業者も30%ある
聞き取りによると、農水産物などの生鮮食料品の流通は、概ね順調に流れているとのこと
しかし、飲料については、イベントや年度末、春シーズンの宴会や行楽が中止となったこと
などから、極めて大きな影響を受けているとのこと

- ⑤ 鉄鋼・重量物を主に扱う事業者は、D Iが▲49ポイント
ダンプ事業者は、D Iが▲47ポイント
一方で「変わらない」と見ている業者がそれぞれ39%、47%見られる
- ⑥ 雑貨・宅配の事業者は、D Iは▲48ポイント
- ⑦ 「減少」の割合をみると、工業品が84%と最も多い
製造業への影響が大きい見込みとなっており、特に自動車関連産業では海外からの部品調達が止まったことなどにより完成車メーカーの操業一時停止が相次いでいることから、県内事業者の生産に今後大きな影響が出るものと予想しているものと思われる

4. 事業者の所在地域別による考察（資料3：3月以降の見通しから）

6地域における大きな特徴は、以下のとおり

- ① 大分東地域のD Iは▲65ポイント、大分西地域及び県北地域のD Iはともに▲58ポイントと悪い
製造業が基幹産業である3地域では、この状況が地域の実態経済に大きな影響を及ぼす恐れがあるものと見ていることが考えられる
- ② 西部地域は、D Iが▲37ポイントと地域別では、最も景況感が良い
「上昇」との回答も14%と高く、他地域と違う景況感
- ③ 県南地域の「変わらない」が過半数を超える50%で、D Iも▲42ポイントと西部地域に続いて低い
農林水産業や造船などが基幹産業である県南地域は、現時点では影響が小さいと予想しているものと思われる
- ④ 別杵地域のD Iは▲50ポイント

5. 輸送品目別分類における時期的D Iの変化に対する考察（資料2）

回答数が10事業所以上ある輸送品目別の1月及び2月と3月以降の変化については、以下のとおり

- ① 1月の対前年比の売りに関するD Iは、▲16ポイント～▲33ポイントの間
- ② 2月は、▲22ポイント～▲37ポイントの間
1月のI Dと比較して大きな変化はみられない
- ③ 3月以降の先行きでは、▲48ポイント～▲79ポイントと大幅に悪化
- ④ 2月と3月以降を分野別に比較すると、タンクローリーの変化率が46ポイント悪化、続いて工業品が42ポイント悪化、木材が39ポイント悪化、
3分野とも、「変わらない」が30ポイント程度「減少」に転じている
- ⑤ 食料品が30ポイント悪化、ダンプが22ポイント悪化、鉄鋼重量が20ポイント悪化
しかしながら、「変わらない」が30%以上を占めているこれらの分野は、比較論であるが、影響の度合いは小さいと予想していると思われる

6. 地域別における時期的D I の変化に対する考察（資料3）

各地域において、1月及び2月と3月以降の変化については、以下のとおり

- ① 1月の各地域のD Iは、+8ポイントから▲36ポイントの間
- ② 2月は、▲8ポイント～▲37ポイントの間
両月とも地域で大きなバラつきがあり、それぞれの地域の特徴が出ていると思われる
- ③ 大分東地域は、1月と2月は共に▲23ポイント
3月以降は▲65ポイントと大きく悪化している
多くの感染者が出た地域であり、地域の事業者の危機感が表れたものと思われる
- ④ 西部地域のD Iは、1月が+8ポイント、2月が▲8ポイントと他地域と比較し景況感
良いが、3月以降については、▲37ポイントと悪化
2月から3月の変化は29ポイント悪化している
- ④ 県南地域は、2月と3月以降の変化は、6ポイント悪化
2月から3月の変化は16ポイント悪化している
西部地域と共に、他地域と比べて影響を受ける度合いが低いと思われる
- ⑤ 県北地域は、1月、2月もD Iが悪く、3月以降も依然として悪化すると見ていると思わ
れる

7. 調査結果を受けて

貨物自動車運送業界は、慢性的なドライバー不足に直面しており、効果的な対策が望まれているが、今回の新型コロナウイルスの広がりで一層難しい対応を迫られている。景気の減速により、全産業における求人情勢は緩和される可能性もあるが、それが直ちにドライバーの確保が繋がることは考えづらい。

むしろ、産業全般において全ての輸送量が減少する事態に至っていない状況で、品目により需要と供給に大きなアンバランスが発生している現状では、流通量が減少している品目を輸送する事業者が大きな影響を被ることが考えられる。

一方、地域の産業構造や新型コロナウイルスの広がっている地域とその他の地域などで、現状や景気への先行き感に差があり、この点にも考慮する必要がある。

そこで、本協会では、会員事業者ときめ細かい情報交換を行い、

- ① 経常状況の把握
- ② 経営相談への対応
- ③ 国や関係機関の支援策等

を効果的かつタイムリーに実施していくものとする。

新型コロナウイルス等にかかる景気動向調査 547事業所中、309事業所が回答 回答率56.5%

設問1. 登録台数 回答数 計

7	10台未満	128	309
イ	10台以上～30台未満	126	
ウ	30台以上～50台未満	38	
エ	50台以上	17	

設問2. 所属支部

7	大分西	69
イ	大分東	71
ウ	別枠	28
エ	県北	52
オ	西部	37
カ	県南	50
	未記入	2

設問3. 輸送品目

7	木材	28	カ	タンクローリー	22
イ	ダンブ	55	キ	鉄鋼重量	31
ウ	工業品	79	ク	引越	5
エ	食料品	63	ケ	その他	105
オ	雑貨・宅配	48			

設問4. 売上(前年同月比)

1月					
7	上昇	37	12%	12%	12%
イ	変わらない	166	54%	54%	54%
ウ	5%未満減少	45	15%	15%	
エ	5%以上～10%未満減少	43	14%	14%	34%
オ	10%以上減少	17	6%	6%	
DI(「上昇」-「減少」)					▲ 22

設問5. 今後3ヶ月の見込み

3月～5月					
7	上昇	16	5%	5%	5%
イ	変わらない	109	35%	35%	35%
ウ	5%未満減少	70	23%	23%	
エ	5%以上～10%未満減少	74	24%	24%	59%
オ	10%以上減少	37	12%	12%	
DI(「上昇」-「減少」)					▲ 54

2月

7	上昇	36	12%	12%	12%
イ	変わらない	155	50%	50%	50%
ウ	5%未満減少	49	16%	16%	
エ	5%以上～10%未満減少	44	14%	14%	38%
オ	10%以上減少	24	8%	8%	
DI(「上昇」-「減少」)					▲ 26

地域別

所属支部	大分西	大分東	別杵	県北	西部	県南
回答数(3.19時点)	69	71	28	52	37	50

支部名	市町村、区域等
大分西	大分市西部 概ね、乙津川以西
大分東	大分市東部 概ね、乙津川以東、臨海地区
別杵	別府市、日出町、杵築市、国東市、姫島村
県北	中津市、宇佐市、豊後高田市
西部	日田市、九重町、玖珠町
県南	佐伯市、津久見市、臼杵市、竹田市、豊後大野市

1月																		
上昇	5	7%	11	15%	15%	3	11%	11%	5	10%	10%	8	22%	22%	5	10%	10%	
変わらない	41	59%	32	45%	45%	15	54%	54%	23	44%	44%	24	65%	65%	31	62%	62%	
5%未満減少	11	16%	11	15%		3	11%		11	21%		2	5%		6	12%		
5%以上～10%未満減少	9	13%	11	15%	38%	6	21%	36%	9	17%	46%	2	5%	14%	5	10%	28%	
10%以上減少	3	4%	5	7%		1	4%		4	8%		1	3%		3	6%		
D(「上昇」 - 「減少」)	▲26		▲23		▲25		▲36		▲8		▲18							

2月																		
上昇	7	10%	11	15%	15%	2	7%	7%	7	13%	13%	4	11%	11%	4	8%	8%	
変わらない	33	48%	32	45%	45%	16	57%	57%	19	37%	37%	26	70%	70%	29	58%	58%	
5%未満減少	15	22%	9	13%		5	18%		11	21%		3	8%		5	10%		
5%以上～10%未満減少	10	14%	11	15%	38%	3	11%	36%	10	19%	50%	3	8%	19%	7	14%	34%	
10%以上減少	4	6%	7	10%		2	7%		5	10%		1	3%		5	10%		
D(「上昇」 - 「減少」)	▲32		▲23		▲29		▲37		▲8		▲26							

3～5月																		
上昇	2	3%	3	4%	4%	1	4%	4%	2	4%	4%	5	14%	14%	2	4%	4%	
変わらない	24	35%	18	25%	25%	12	43%	43%	18	35%	35%	12	32%	32%	25	50%	50%	
5%未満減少	18	26%	20	28%		6	21%		7	13%		8	22%		11	22%		
5%以上～10%未満減少	16	23%	19	27%	69%	7	25%	54%	17	33%	62%	8	22%	51%	6	12%	46%	
10%以上減少	8	12%	10	14%		2	7%		8	15%		3	8%		6	12%		
D(「上昇」 - 「減少」)	▲58		▲65		▲50		▲37		▲42		▲37							

2月～3月以降の変化	▲26	▲42	▲21	▲21	▲29	▲16
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

